新板

武家氣質

二

特別
へ13
4189
2

特
213
4189
2

京都帝国大学図書

狂歌百人一首

巻二

鹵山文庫

月深

一方神祇の月の余華
いなばの山の峰の松風
うらみ慣れ土と成る民の
ゆく

二門雲月を敲く

東武の月をかたくなる門
夢の新屋が門を命の
ゆく

58-2029

三 松風軒やけん脇指

月ぐるの月の松風軒
長もものもの山の五月

四 紙子とうらの袷

紙子とうらの袷
分別のかれ袖の月

一 世間噂の風の金

世間噂の風の金
世ようの男といふ事
ちの女よ新く。
なぜ人ものうつ。
ぐらの花の明
と出来ものこと。
いうの花れ那
ちつ商売となる
ふ美ちとトせ
奥行ぐの意と
ひうの人書よ

院の門ぜんぶ無なる所に茅の屋ふき西の月と今宵
ふんなるいけにて胸も晴く病のれ枝しぶん
の新のうぐいすやめて今はあの春の家とうぐひ
親人たち朝勤ぶ出るよりてずく浦の女と
所のかもしさて名を思ひ出るとあるこゝろ
和歌をつぐの月ぶ
なるの家よりて
の月里の門花を
奥義本しひく
あつて国国
ちまい

くいるい親たちとなる
ふくいをよりうへ
たちの所彩物とも
くぶほもうへぶ
ちへいをもちり
ちさうけく水
ちの金とぶ
ちれてへ
んなぶ
歌ぶちの

ぢいもとなるよう人の門前に張紙をして張ぬ人は清悪なり
ぐしとゝのけがらはさわいせくゝたぐゝ切ぬ。
実ちう運命つきて。ぬふうれうるかゝ河内ぬ
国ぬ長ちう国名若ゆ山ぬ人ぬ長ちと祈ひゝよゝ
者ゝのゆゆ法よちうかゝりるゆゆゝ是非
よゆゝちぐゝ。西と長の三列よゝぐり国名義
長東方よゝ行くゝ。国ちうえの松ゝ実会せちるかりぬ
長東のすちうゝ長ちと加ぐゝ武ゆと
寸西八よ西と法ちぬ八長ぬ乃山里り
刃ちくして。ちを切ちて書くゝかゝらも義
切ゆゆ。帯道とのゝけ。ひゝのゝ。義れう

ちうくゝ行くゝ。世ゆまゝゝうちもやりも見ちう。長ちう
八ぬゝよゝちよゝ。世ちの事ゝもちゝ拾ゆ
一人ちゝ仏ゝ人の歌ゝちゝ。ゆ武義ぬ
武義ちゝ行くゝ。ゆちう長ちゝ八ゆ師の弟よゝ動ゆ
ちちゝう行ちゝ武ぬ。ちうちゝよゝ。ゆ言
わひくゝ法歌ちゝ行。ちのびくゝよゝ列の門ゆを
ちよゝ国とおぐれゝ行ちゝも世ん家ちて。義とか
ちくゝよゝ。ぬの人。年ちゝ別ちくちゝ。ぬ人門
源のちくゝゆゝ行ちゝ長病ちくゝ。ゆの痛法ちさ
て。ぬゝ人ちゝよゝ。ちゝの月ちくゝ。上月の名書よ
りひくゝ行ちくゝ。ぬひ一門国ちて義ぬ

ゆくあち坂よりのぞれば。中そも。そうん坂にて
あぐひ坂ぎ。ぎ。ぎ。

[illegible]

義家が浄ちうれたる事を[illegible]
竹田ガ[illegible]れ[illegible]
[illegible]
[illegible]

ゑ給ふ事ありてこゝ[illegible]義角入道よさあらはし
ゝ[illegible]ゝと[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

ぶる
衣うけるくひとまる。れのいやぐらは祖母まひとの
ひとこ七八人づ。寄合の親方ぐるま後藤を
ちうと。隆世の場ふとも。をとりそひ。れぐ
といそぐ。をくをく行く。これくい。ゆくえ。
を野じもひのうの。ふの男八隆ふ。ぶそび
下ものをよ。をゆ中のひ。をまうう。ふ洞らくふへ
てくぶりのくうよ。ぶられるを。世ふるぐく
ふてらよ。ふ野のゆよ。ぶれく和ものよ
ひうをふ。ふ人氣をつひくぶんぶんふぐよぶる
ふの人をえをひふ。ふふのをそれふ。物の
麦づをんをくふ。ふふ。ふ迷ふの者ふよ

ちはうしゝ又人ゝなどゝ。ゆゝ[illegible]ぐんよまうして。此
ゝくゝ又ゝぐけしゝゆゝ。鴨川ゝゝゝ

かうてどうしたらよいぞとおもうた
さんどもかをとおもうてくびをひねり
あんうけるかつけるよりほかはなしと
こうけ〳〵はつけかはつけるの町人たちさ商
賣のうんぬんとてさうぐんたちよりもの
てさうぐさうのかをとりてくびをひねり
ちとあるほどをのくんおもうて歳暮
なほかうそのよりあとはつけるもの
めとさうぐんたちがとうれば酒よりこれ
さうとはえまでとうれば二月ばかり
はるのまへのあいだはつけうぐ
かうたかをとりてくびをひねり
年取ぐさうんの用をとりてあるかはつ
年取ぐさうれの用をとりてあるかはつ
ひとりとはなかつぐさうぐ
人見とうんかをとりてくびをひねり
はりのひきうんかをとりてくびをひねり
角力のはしりさうぐ
はいりうぐ
食をとりてくびをひねり

三

松風ぐうやのうんぬん陽氏
人のうぐ

へ出河。そのまゝ乃川船頭とゝし。蓑と称され
くせられ。風乃和源くぱかりひあぶ屋敷の
なりうもぐくさくへぱ知れぬ乃ゆりうく傾らの
傾子の中ふ家世寄乃うちうきとうきめ
しゝせられぱ。えの口船頭乃家世寄けな
中ふと月乃和宮れ和ゝて。二人乃門乃家和
ものくゝ。ゝかりのびんへうゝ。ぬれりのふ
見知家の出そうあひ。ゝ和ものゝ出
源ううぱとせよぱ。毎人ぱれうとひ。
ゝ。ぱられ月ものぐ。ゝ人ぱ門乃家
和の事ゆて。ゝうく月乃船頭のうきとゝ

あひまひ。風ゝびうきゝうく。ぱ人ゝ世ゝ傾よ
ぱ。家ゝて。宮の家ハ風ゝそぐくゝゝゝれぱゝ
とゝうゝうゝひ月乃和よ入ゝまひ。明ゝ宮ゝ和よ
うけとゝ。ぱよゝうゝあぱゝとゝて。元船
ゝぐゝぱ。ぱ。ゝ人ゝよ同ゝう
年とうゝ。ぱゝ世ゝうゝ。世のゝう
ハゝあゝ。ゝれゝ。ゝ。ゝ。

きんかのぢやうきゝ者の娘ハ。毛利のまんさう
物語とあつかひ人の為といふ。よの毛ハ
しらぬあらざ。思ひ腹ふ物ずしてハ。なさ
けとうけくもうおさ氏あり。よ松風と尾前
ハ海あつりれ浦里よ橘人のじすあなるぶ浦そぐ
ちーふぱぱよりあ〜ぱ浦れ蜜の松風の
世ようとしあうぢきあれ。ぱるくらと浦
おあのとらぱ。毛も川面ぎよるぱらくハ
わされあ〜ぱ面よ巴ぱとなばさんきるぱ。
毛角高の歌門のれぱりとぱてのまんん
ぱ。世ようふひらくはとぱ人とあるひ河長浦ちよ

年ひづきあのの巴物。二月の歌。よ川面歌
よはあるて浦毛ぱ。ぱ面あるぱ。ぱ
中もつひもりはぱ。ぱ〜ずして。ぱはるぱ
月とるとぱ。ぱひ毛ぱ。茶乃戸のうけ
月とるあ。ちりけ。ハの人毛よ面ぱ〜の
月ふ長ぱ。ぱ。ぱ毛の毛ぱ乃ぱ。ぱひ
ぱよ。ぱ毛の毛角ぱ。ぱひ乃部ふんさ
せられ。角ぱられ。ぱ毛ぱとぱ。ぱよ
角ぱ〜の毛ぱ。ぱ乃毛。ぱ手よ毛ぱ。ぱ〜
て表ぱ。ぱ毛ぱの上ぱ毛ぱ。ぱ。ぱ毛ぱ
毛ぱ。ぱ〜ぱ毛ぱ。ぱ毛ぱ。ぱ毛ぱ。ぱん

つゞく此日とてこそ山あるかぎりぞ
なるあこぎのうらかぜ山の峰のもみぢ
まのぞ。さぶいとせずしてはたゞ
ふりひのうつさるよ。ぞろ
うらひなぬ。ゆくゝ
いそ世うつゞけ。
よ。これ
さくすれ。月の
らくゝ。命
そうき世
生よ

はけ。そはは世の
世ゝ邪病
も親
たゝげ
しゝ
人ゝ
ようれ
ゆぶれ
と同役

ゝ人をなくまれ
と邪ものゝ病よ
の。春の
の。
ゝ。
ゝ。
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ものあるまじ。されば一人つまそぶ
ぶんぶんとうれしがり。ほりづくしの
の祭りのうつり。大の物をうり松
ばかりのうつりまでわかるまで
ゑ祝めめでたうて三河のうり
ものくぶひよ鯖そうりてがさ人をせこうや
うに切むすび八十ものあ尾こく作しかをこう
ものあ。ゑ人をせこのうちは。あ方れ小着
ぶひうちてむ。くりあり人作しかを鯖ものも
ゑつけこゑ物よりくぶぜんこすうらんあ
りかものあ。小者も作ゆ。あれぐがうぐくえ
作しかをゑ殿ゑれかうくうちぶ人屋かをゆう

親よりこゝろ[illegible]と[illegible]ぬ。[illegible]
朝の[illegible]行て[illegible]小[illegible]
て。[illegible]方へ[illegible]
もゆるゝ[illegible]人[illegible]
[illegible]八十[illegible]親[illegible]
[illegible]と[illegible]押へ[illegible]
[illegible]。しゞ[illegible]
[illegible]よ八十[illegible]歳。[illegible]八十[illegible]
[illegible]武[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]男[illegible]
[illegible]上[illegible]

なるまゝ[illegible]ぬ。八十[illegible]と[illegible]
[illegible]。親[illegible]
[illegible]の親[illegible]
[illegible]武[illegible]
[illegible]成[illegible]
[illegible]
家[illegible]大代の